

株式会社河野製作所

世界最小の微細針糸を開発

—マイクロサージャリー分野に注力



- ・製造設備や工具を含めて内製化
- ・ヘルスケア分野に本格進出して持続的な成長を目指す

河野製作所は時計針の製造が原点で、その後、医師と共同で手術針を開発し、医療機器メーカーに転進した。世界最小の微細針糸をはじめ、世界初の製品をつくり続ける。それを支えるのが、モノづくりへのこだわりで、製品を製造する設備や工具を含めて内製化している。日本市場が縮小傾向にある中、海外展開と、化粧品などBtoC(対消費者)のヘルスケア製品で持続的な成長を目指す。

血管径0.1ミリメートルの 血管吻合手術を可能に

強みはマイクロサージャリー(手術顕微鏡を活用し、身体の微細な部分に行う手術)分野にある。代表的な製品は世界最小の微細針糸だ。直徑は30マイクロメートル(0.03ミリ

メートル)、針の長さが0.8ミリメートル。これにより血管径が0.1ミリメートルの血管の吻合(ふんごう)が可能になった。

発売から十数年も経過しているが「今でも世界各国の医師から購入の問い合わせがある」(河野淳一社長)。製品に成長している。マイクロサージャリー分野で構築したブランドを、心臓血管外科や美容外科など他の診療科にも展開している。

同社の開発方針は明確だ。技術開発型ベンチャー企業のため、競争が激しい大きな市場には参入しない。

「他社が参入しない市場を探し、商品を開発する」(河野社長)。市場規模は小さく、少量多品種だが、河野社長は「ニッチで小さな市場かもしれないが、我々の製品を待っている医師と患者は確実にいる」と強調する。小さい

が、その市場を育て、積み上げ、収益を次の開発に充てる。リスク分散することで経営の安定化にもつながる。

年に二つ以上の世界オンライン・ナンバーワン製品を投入

市場の変化に迅速に対応するため、10年内に市場投入した新製品で売上高全体の50%を占めることと、年に二つ以上の世界オンライン・ナンバーワン製品を市場投入することを目指す。この開発サイクルを回し続けることが、同社の成長の原動力だ。

今後、グローバル展開も加速する。すでに微細針糸を米国と中国、南米、台湾、タイ、インドネシア、シンガポール、イスラエル市場に投入している。今後、他の製品についても米食品医薬品局(FDA)をはじめ、各国・地域で



CJK Mediカルラボは本社を茨城県常総市から東京・表参道に移転



世界初の製品をつくり続ける(つくば工場)

も販売許可の申請を進める。

これらの取り組みにより単体で2028年9月期に売上高40億円(23年9月期は27億5000万円)、このうち、海外で1億円(同4億2000万円)をそれぞれ目指す。31年9月期には売上高100億円、経常利益20億円以上が目標だ。

これを実現するには組織力の強化も必要になる。グループ全体の社員にとって働きやすい場所として、22年に東京営業所を東京都千代田区に移転拡張。米IT大手4社の「GAFA」のオフィスをモデルにした。生産性の向上で生まれた時間で新しい業務に挑戦

し、主力の医療機器を中心とした新規事業を創出する。

「7:3カルチャー」を加速し、 新しい業務に挑戦

特にグループを挙げて取り組む「7:3カルチャー」は、業務時間の7割は従来の業務を行い、3割で新しい業務に挑戦するものだ。医療機器の場合、市場投入まで10~20年間かかる製品があるが、化粧品などのBtoC製品はサイクルが早い。医療機器と異なるマーケティング手法

も必要だ。この事業を若手に任せ、事業を立ち上げ、マネジメントできる人材を育成する。挑戦することで育った社員を外部とつなげ、イノベーションをおこせる製品開発につなげる。

グループ会社のCJK Mediカルラボも、本社を茨城県常総市から東京・表参道に移転。利便性の良い立地を生かし、医師ら国内外の関係者と社内をつなげる、環境をつくり、ヘルスケア分野に必要なBtoCのノウハウを吸収する狙いだ。持続的な成長を実現するための新しいサイクルが回り始めようとしている。



代表取締役
河野 淳一氏



新しい価値を生み出せる人材を育成

医療機器は医師と患者のニーズがあり、開発した製品も学会で発表してもらえば、安定的な事業基盤になっていきます。ファブレス化すれば、収益力がアップするのはわかっていますが、それではおもしろくありません。製品を製造する工具からのモノづくりにこだわっています。

本格的な参入を目指す化粧品などのヘルスケア製品は、ユーザーにとっ

て優れた製品をつくるだけではなく、販売店などの関係者の利益を踏まえてビジネスモデルを構築する必要があります。新しい製品を生み出し、新しい市場を創造する力がこれまで以上に求められます。企業の力は社員の力に比例します。社員には失敗を恐れずに挑戦してもらい、新しい価値を生み出せる人材になってもらいたいと考えています。



「GAFA」のオフィスをモデルにした東京営業所

会社 DATA
所 在 地：千葉県市川市曾谷2-11-10
拠 点：国内事業所5カ所
設 立：1970年5月
代 表 者：河野 淳一
資 本 金：1000万円
従 業 員 数：197人(2024年9月30日現在)
事 業 内 容：医療機器の開発・製造・販売
U R L：<https://www.konoseisakusho.jp/>

